



2024年4月24日

## 「未来に向けた5つの重点テーマ」の更新について

株式会社テレビ朝日ホールディングス(本社:東京港区、代表取締役会長 早河洋、以下「テレビ朝日 HD」)は、サステナビリティを巡る取組みについて基本的な方針を策定し、それに基づく活動を推進するため、2022年5月11日付で発表した「未来に向けた5つの重点テーマ」を更新しましたので、お知らせいたします。

## 未来にむけた**5**つの重点テーマ



## 地球の未来への貢献

豊かで美しい地球を次世代へ継承していくため、環境問題の解決に取り組みます。また、災害報道を通して、自然災害から身を守る行動をメディアとして社会へ呼びかけていきます。

### 目標① 個人及び団体が SDGs 達成のアクションを起こすきっかけを提供します。

- ・ コンテンツを通じて SDGs への関心を高め行動を促進します。SDGs に関連するウィークを1年に2度ほど実施し、報道局の各番組で気候変動をはじめとした SDGs 企画を放送します。  
(「しあわせのたね。」等 SDGs をテーマにしたレギュラー番組や特番、日々の報道情報番組等で取り上げていきます。)
- ・ 国連 SDG メディアコンパクト加盟社として他社とも協力して SDGs への関心が高まるよう取り組んでいきます。(気候変動対策キャンペーン「1.5° の約束」の参加や共通動画等を配信します。)
- ・ スポーツイベント等で環境に配慮した施策を実施し、社内外に発信します。

### 目標② 災害の脅威を伝え、災害時には地域活動に貢献します。

- ・ 災害情報の適切な発信に向け緊急対応放送の体制を強化します。
- ・ 災害発生時の放送維持のため、強固な設備構築および毎年の定期点検を行います。
- ・ 災害情報のアーカイブ化を続け、次世代に情報を引き継いでいきます。  
(能登半島地震の被災地映像「被害状況マップ」、東日本大震災の被災地定点記録「REC from 311」、災害日めぐりカレンダー「まいにち防災」)
- ・ 災害時に帰宅困難者を保有施設で受け入れる体制を整備します。
- ・ 総合学習支援「出前授業」「テレ朝出前講座」で「災害報道(メディアの役割)」「地域防災」をテーマに情報を伝えていきます。

### 目標③ 資源の有効活用および地球環境に優しい生活スタイルを提案します。

- ・ 番組の美術廃材をアップサイクルし、イベント事業で有効活用します。また、番組の美術廃材を再活用する「art to ART Project」で他社とのコラボレーションを進めます。
- ・ 音楽フェス等で環境に配慮した施策を実施します。

**目標④ 脱炭素社会に向けた取組みなどを進め、環境負荷を低減します。**

- 2030 年度までに本社の再生可能エネルギー比率 100%達成します。その過程である 2025 年度は段階的目標として再生可能エネルギー比率 40%を目指します。また、これらを推進するため、本社スタジオ設備(照明)の消費電力を 2020 年度比で 50%削減します。
- バーチャルプロダクション/バーチャルセットの活用により、美術廃材を削減します。
- 野外音楽フェスにおいてグリーン電力を活用します。
- 番組制作の現場、会議、社内報等をタブレット、資料の共有システム等を利用し、引き続き紙の消費を削減します。
- 東京ドリームパークにおいて環境保全の施策を実施します。

## すべての人が活躍する未来の創造

コンテンツを通して、子供からシニア層まであらゆる世代の人々に“学びの場”を提供していきます。その先にある“人々が活躍できる社会”の実現に貢献します。

**目標①** 未来を担う若者を応援する仕組みをつくり、全ての人が活躍できる社会の創造に貢献します。

- ・ 未来を担う若者のクリエイティブを応援します。  
(テレビ朝日新人シナリオ大賞の開催、全社員企画募集など若手クリエイターを発掘する取り組みを継続します。)
- ・ 次世代のイノベーター、アントレプレナーを応援するプロジェクト「FUTURE TALENT STUDIO」を推進し、より良い未来の創造を目指します。
- ・ 「学び」と「エンターテインメント」を融合し、オンライン教育サービス「SOZOW」との事業連携などを通じて、全国の子供たちに新たな学びや体験を無料で届けます。
- ・ 2003年から開催している「高校生・高専生のための科学技術チャレンジ(JSEC)」(朝日新聞社とテレビ朝日の共催)を通して人材の育成を応援します。
- ・ 美術廃材を再活用する「art to ART Project」のワークショップを開催し、あらゆる世代にモノづくりの楽しさを伝えます。

**目標②** いつでも、どこでも、どこへでも“学びの場”を提供します。

- ・ あらゆる世代の“学びの場”となる番組を提供します。  
(報道情報番組をはじめ、バラエティやドラマでも楽しみながら知的好奇心に応える番組をレギュラー編成します。)
- ・ 子供たちに“学びの場”を提供するイベントを開催します。
- ・ 総合学習支援では、「出前授業」「テレ朝出前講座」「テレビ塾」「館内見学」を通してテレビ局ならではの多種多様な“学びの場”を創出します。  
(「出前授業」「テレ朝出前講座」のリアル&オンラインのハイブリッド開催を維持、「テレビ塾」ではオンライン開催を維持し、より多くの方が参加できる機会を提供します。)

## テクノロジーで新しい未来へ

テクノロジーの進化により、人々の生活が急速かつ大きく変化するなか、最先端の技術を伝えていくとともに、日々の活動にも取り込みます。

**目標①** 人々の暮らし、働き方、ビジネスの新たな選択肢を提供するテクノロジーおよびクリエイターを恒常的に見出していきます。

- ・ 報道情報番組やバラエティ等を通じて時代の最先端を走る“人”や“テクノロジー”を特集していきます。
- ・ AIをはじめとした最新テクノロジーを活用し、コンテンツ制作・放送・配信・ビジネスなどの新規開発や、効率化を促進する研究を行います。

**目標②** AI・VR・メタバースなどの新技術を使ったコンテンツを創造します。

- ・ コンテンツ制作に新しいテクノロジーを取り入れ、コンテンツの新しい体験機会を創り出します。  
(メタバースを取り入れた番組をレギュラーで放送、テレ朝公式メタバースアイドルユニットの開発や、「メタバース六本木」「メタバース TOKYO BAY」の地上波連動イベントや音楽イベントなどの開催、企業とのコラボ企画を推進します。)
- ・ XR やメタバースなどの先端テクノロジーを用いて、他社との共創活動を行うことにより、新しい映像表現の提供を目指します。
- ・ AI、ブロックチェーン、Web3 や NFT といった新規領域を開拓し、新たなコンテンツやサービスを創出することに挑戦し続けます。

**目標③** 業務の効率化および働き方の多様化を図るため、DX を活用します。

- ・ 放送制作に関わる自動化システムを開発・導入し、業務効率化を行います。  
(独自開発した文字起こしツール「vaboo」を進化させ作業効率を飛躍的に向上、災害報道での迅速な放送対応を可能にする「A-CLOUD」を活用、携帯アプリ「MOJOPRO」の利用で世界のどこからでも中継可能に)
- ・ RPA・文字起こし・チャットボットなどの AI 技術を活用し、定型業務の自動化を促進し、社員が主体的・創造的に働くことのできる環境を整備します。

## 人に優しく共に生きる

互いの個性や価値観を尊重し、すべての人が暮らしやすい社会を目指します。また、従業員のさまざまなライフステージに応じた支援を実施していきます。

### 目標① 人権を尊重します。

- ・ 「テレビ朝日グループ 人権方針」に基づいて、人権デュー・デリジェンスの実施に向けた推進体制を構築し、施策を検討、実行します。
- ・ 人権に関する情報や認識の共有に努め、人権を尊重した情報発信、コンテンツやサービスの提供を徹底します。

### 目標② 「多様性」を取り入れたコンテンツの制作および発信を続けていきます。

- ・ ジェンダーバランス、マイノリティへの配慮など、ダイバーシティの視点をもってコンテンツを制作します。  
(字幕放送や解説放送を提供、多様性への理解など時世に応じた放送ハンドブックの更新と周知徹底するため全社的な勉強会を実施します。)
- ・ 差別・人権・ジェンダー平等などのテーマを考査委員会、考査事例勉強会などの場で取り上げます。
- ・ パラスポーツを積極的に取り上げ、またインクルーシブ大会を支援します。

### 目標③ 多様な人材の活躍を推進し、Well-Being を実感できる会社を目指します。

- ・ 社員のワークライフバランス向上のため、育児(男性育休含む)、介護をはじめ、各ライフステージにおけるイベントをサポートします。
- ・ 女性管理職比率や他社就業経験者比率の向上、職場環境改善等を進め、多様な人材が活躍できるよう取り組みます。
- ・ 社員の心身の健康を促進し、Well-Being を実感できる会社を目指します。

#### 【その他の取り組み① テレビ朝日福祉文化事業団】

- ◇ 1977年、民間放送局初の社会福祉法人として「テレビ朝日福祉文化事業団」を設立しました。テレビ局の特性を生かしながら、児童、母子、障がい者、高齢者など幅広い対象者への福祉活動に取り組んでいます。

#### 【その他の取り組み② テレビ朝日ドラえもん募金】

- ◇ 自然災害の被災者や福祉活動への援助等を目的とし、1999年より「テレビ朝日ドラえもん募金」を実施しています。テレビ朝日での各番組をはじめとする呼びかけを通じてお寄せいただいた募金の全額を被災地へ寄付しております。

## いつまでも信頼される会社に

放送局・報道機関として公共的使命を全うするため、ガバナンスを強化し、コンプライアンスを徹底します。情報提供の充実に努め、経営の透明性を高めるとともに、社会のルールや様々な要請に適う体制を常に構築していきます。

### 目標① 迅速かつ公正・正確な報道をします。

- ・ 「テレビ朝日放送番組基準」、「テレビ朝日倫理規範」を徹底します。

■社会的責任と公共的使命を重んじ、不偏不党の立場に立って、真実を伝え、公正な姿勢を貫くとともに、放送の品位を高め、表現の自由を堅持します。放送に当っては、民間放送の特色をいかし、豊多彩、健全かつ清新な番組編成を方針とし、文化の向上、教育教養の普及に寄与するとともに、正確迅速な報道、豊かな生活情報、および多種多様な魅力ある芸能娯楽を提供し、広告の公正な媒体として、公共の福祉と産業経済の繁栄に貢献し、社会の良識と信頼にこたえます。（「テレビ朝日放送番組基準」一部抜粋）

■放送法・その他法令をはじめ社会的規範を順守し、公正で健全な事業活動を行います。そして、真実を迅速に報道し、また、楽しい健全な番組をつくり放送することにより、経済・社会の発展に貢献します。（「テレビ朝日倫理規範」一部抜粋）

- ・ ファクトチェックを徹底し、より複雑化する情報や映像のフェイクを見抜き、事実を公正・正確に報じます。

### 目標② ガバナンスを強化します。

- ・ 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、ステークホルダーのニーズに適うコーポレート・ガバナンスの充実に継続的に取り組みます。

**目標③ コンプライアンスを徹底します。**

- ・ コンプライアンス推進体制を強化するとともに、役職員のコンプライアンス意識の浸透及び向上を図ります。
- ・ 放送ハンドブック研修を実施し、周知・徹底します。
- ・ ダイバーシティ(多様性)、エクイティ(公平性)、インクルージョン(包括性)などをテーマとする講演会・セミナーを年1回主催・実施し、参加者の意識向上を図ります。
- ・ 内部監査、経費の適正使用調査など、定期的にモニタリングを実施します。

**目標④ 情報セキュリティ体制を強化します。**

- ・ 情報資産の保護を徹底するため、データガバナンス体制を強化します。
- ・ 社内セミナー等を実施し、データリテラシーを向上させます。
- ・ 重要インフラとしての放送の継続を確実にするため、高度なセキュリティ対策を講じていきます。

**目標⑤ 下請法を遵守し、取引先企業との適正な関係を構築します。**

- ・ 制作部門を対象とした勉強会を通して、従業員への教育を徹底します。
- ・ 制作会社との取引について社内調査を適時実施します。
- ・ 法を遵守し、下請事業者との信頼関係構築を図り、よりよい番組コンテンツの制作を行います。

以上

**【株式会社テレビ朝日ホールディングス】**

代表取締役会長 早河 洋

所在地：東京都港区六本木6-9-1

- 本リリースに関するお問い合わせ先  
株式会社テレビ朝日ホールディングス  
SDGs推進室 事務局  
電話：03-6406-1115(代表)